

令和元年度事業評価

課別評価シート

【教育推進部 教育センター】

目 次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【子育て支援】分野の事業の評価	P. 3
3 【教育】分野の事業の評価	P. 5

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～
教02-01	科学教育事業
教02-02	地域大学等連携事業
教03-01	健康・体力増進事業
教10-01	教員研修・研究事業
教10-02	総合相談事業

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】	
拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの	現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの	縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの	終了済 → 昨年度までに終了した事業

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～		子育て支援(B)	子育て支援(D)			
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	幼稚園等での専門的発達支援のプログラム等の実施回数	回	105	105		210	300
	幼稚園等の職員向け研修及び区民向け講座の参加者数	人	122	149		271	360
事業費(千円)			20,128	16,370			
行政コスト(千円)			21,511			進捗の課題	無
所要人員			1.793	1.803			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
教02-01	科学教育事業		教育(A)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	自然科学教室	回	78	76		154	180
	パソコン教室	回	43	41		84	150
事業費(千円)			30,896	30,573			
行政コスト(千円)			20,826			進捗の課題	有
所要人員			1.665	1.735			
進捗の課題と改善策		パソコン教室等の情報科学事業については、学校行事との重なり等があり、実施日の設定に困難がありましたが、自然科学教室等の自然科学事業については、出前授業の実施により実績を高めており、科学教育全体としての事業の充実を図っています。今後は、情報科学事業においても出前授業の実施に努めます。					

事業番号	事業名		中間アウトカム				
教02-02	地域大学等連携事業		教育(A)	教育(D)			
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	スクールモバイルミュージアム	期	2	2		4	6
	科学教室連携講座(子ども科学カレッジ)	件	15	15		30	39
事業費(千円)			3,532	2,862			
行政コスト(千円)			11,301			進捗の課題	無
所要人員			1.141	1.199			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
教03-01	健康・体力増進事業		教育(A)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	体力向上アドバイザー派遣	回	181	138		319	660
	がん教育授業講師派遣	回	16	17		33	30
事業費(千円)			9,786	7,820			
行政コスト(千円)			15,794			進捗の課題	有
所要人員			1.366	1.401			
進捗の課題と改善策		天候事情等で体育授業が実施できないなどの理由もあり、特に体力向上指導員の派遣に課題がみられました。H31より体力向上指導員に替えて、各小学校に週1回「体力アップトレーナー」を配置し、体力向上を推進しています。					

事業番号		事業名		中間アウトカム			
教10-01	教員研修・研究事業			教育(A)			
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	教育課題研修	件	20	18		38	45
	教育アドバイザー訪問	回	186	218		404	198
	事業費(千円)		25,339	21,341		進捗の課題	無
	行政コスト(千円)		-	-			
	所要人員		1.112	1.085			
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名		中間アウトカム			
教10-02	総合相談事業			教育(C)			
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	総合相談室年間相談	件	2,109	2,858		4,967	6,000
	適応指導教室在籍者数	人	49	38		87	160
	事業費(千円)		261,418	271,869		進捗の課題	有
	行政コスト(千円)		80,807				
	所要人員		7.826	8.114			
進捗の課題と改善策		教育センター総合相談に関する統一システムを導入し、増加している相談件数や複雑化かつ高度化している相談について情報共有を図り対応していくとともに、相談体制の強化についても検討していきます。適応指導教室については、在籍者数は減少したものの延べ通室人数は増加しており、引き続き支援内容の充実に努めていきます。					

2 【子育て支援】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【教育推進部 教育センター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム (B)

子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	アウトリーチ型の専門的発達支援の事業が文京版スターティング・ストロング・プロジェクトの他に発達支援巡回相談事業や学校支援係が担当している専門家チーム派遣、OT・ST派遣があります。効率的効果的な事業展開に向けて事業の連携や見直しを検討していきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	乳幼児期の児童の保護者、園等に対するアウトリーチ型の事業である文京版スターティング・ストロング・プロジェクトと発達支援巡回相談事業の効率的・効果的な事業展開のため、連携、見直しを進めました。				
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	児童虐待が予防されている	/	
子01-02	児童虐待防止対策事業	子ども家庭支援センター	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている		
子01-03	児童相談所設置に向けた検討	子ども家庭支援センター	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される		
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業	保健サービスセンター	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている		
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・教育総務課・学務課)	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている		
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている		

中間アウトカム (D)

子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	現状維持	現状維持
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課、児童青少年課)	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-03	ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-04	一時保育事業	子育て支援課(幼児保育課)	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-05	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子05-01	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-02	保育園障害児保育	幼児保育課	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている		
子05-03	多様な保育サービス事業の実施	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-04	文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育課(教育指導課)	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている		
子05-05	区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育課	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている		
子05-06	青柳保育園改築	幼児保育課	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている		
子05-07	区立幼稚園の認定こども園化	学務課(教育指導課)	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている		
子05-08	区立幼稚園の預かり保育	学務課	園児が必要な保育を受けている		
子05-09	幼稚園特別保育	教育指導課	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている		
子05-10	育成室の整備拡充	児童青少年課	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-11	育成室への障害児受入れ	児童青少年課	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている		
子06-01	病児・病後児保育事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年課	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている		

3 【教育】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【教育推進部 教育センター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	1-2 教育
将来像	豊かな環境と人とのかかわりの中で、子どもが「個」として尊重され、ともに学びあうまち

中間アウトカム (A) 子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教02-01	科学教育事業	教育センター	自然科学に対する豊かな感性や科学的な見方・考え方が育まれている	現状維持	現状維持
教02-02	地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持	現状維持
教03-01	健康・体力増進事業	教育センター	子どもたちが健康づくり・体力づくりの基本的な生活習慣を身につけている	拡充	拡充
前回の評価結果の内容	子どもたちの体力・運動能力の向上については、着実な取組みにより、成果が出ていますが、目標値への到達は困難な状況です。そこで、公開講座を活用した保護者等への働きかけや、現在の体力向上指導員、健康トレーナーの位置付けを見直し、体力アップトレーナーの配置を検討し、更なる体力向上を推進していきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	公開講座を活用した保護者等への働きかけや各小学校への体力向上アドバイザーの派遣により、体力向上への取組みを進めてきました。				
課題及び今後の方向性の内容	中学校における体力向上への取組みについても拡充を検討していきます。				
教10-01	教員研修・研究事業	教育センター	教員の資質・能力が向上している	現状維持	現状維持
教06-01	小中連携教育のあり方の検討	教育総務課	子どもたちの発達に応じた小中連携教育の取組が進められている		
教06-02	学習内容定着状況調査活用事業	教育指導課	区立小・中学校の指導方法が工夫・改善されている		
教06-03	英語力向上推進事業	教育指導課	子どもたちの英語力が向上している		
教06-04	大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができています		
教07-01	保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている		
教12-06	教育情報ネットワーク環境整備の充実	学務課	子どもたちの情報活用能力が向上しているとともに、教員の負担軽減が図られ、効果的な授業が行われている		

中間アウトカム (C)

子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教10-02	総合相談事業	教育センター	子どもたちの問題行動や教育・生活上の悩みに対し、適切な相談・支援ができています	拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	総合相談事業として複数の相談・支援業務を一体的に行っていますが、利用者数の増加とともに相談内容が複雑かつ高度化し、対応する期間も長期化していることから、各相談業務の密な連携が重要となっています。スムーズな情報共有による利用者への時間的・質的なサービスの向上のためにも、教育センター総合相談に関する統一システムの導入を進めていきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	教育センター総合相談に関する統一システム導入に向けプロポーザル方式による事業者選定を実施しています。			
	課題及び今後の方向性的内容	教育センター総合相談に関する統一システムを導入し、増加している相談件数や複雑かつ高度化している相談について情報共有を図り対応していくとともに、相談体制の強化についても検討していきます。			
教01-01	いじめ問題対策事業	教育指導課	いじめ問題への組織的な対応力が強化している		
教07-01	保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている		
教09-01	合理的配慮の推進	教育指導課	特別な支援が必要な子どもたちが安心して学校生活を送っている		
教09-02	中学校部活動支援	教育指導課	子どもたちが、充実した部活動を行っている		

中間アウトカム (D)

教育環境の質を地域ぐるみで高めている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教02-02	地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持	現状維持
教06-04	大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができています		
教11-01	学校支援地域本部	教育総務課	教員の負担が軽減され、子どもたちへのきめ細かな対応につながっている		
教11-02	青少年委員による学校支援活動等の推進	教育総務課	地域住民の学校教育への参画が促進されている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分